

2021.4月号(第120号) 2021.4.15

つつじやたんぽぽが色とりどりの花で春の訪れを告げるこのごろ、皆様いかがお過ごしでしょうか。今月も佐藤ガスサービスをよろしくお願いたします。

ゴルゴ松本 命の授業

去る3月16日に講演会が久しぶりに開催されたので行ってきました。

講師は「命!」でおなじみのお笑いコンビTIMのゴルゴ松本氏で、コロナ禍で人と人の関わりが薄れていくことに対する不安や憤り、危機感から今回の講演の企画となったそうです。

ゴルゴ松本氏は漢字について深い造詣と関心があり、日々漢字についての歴史や意味について勉強されているようで、漢字の話や歴史の話などを交えて講演をくださいました。また、同氏は少年院で『命の授業』と題し、ボランティアの講演活動を行っています。

講演は、暇だから来たんでしょ?でも、人生は暇をどう使うかだと思っています。というつかみから始まりました。

以下、講演内容でバに残った内容をご紹介します。

- ・こんな時期だからこそ**元気**が大事です。旧字体だと『氣』という漢字の中は『米』だった。『米』という字を見ると、四方八方に広がっています。だから**四方八方につながって、気を集める**という意味だったんです。元気があればなんでも出来る!
- ・学生時代に甲子園に行き、頑張れば夢は叶うと知った。それも一人ではなく、みんなでならと。
- ・漢字を分解してみると意味がわかります。バの**音**が『意』だから意識とは、言葉や音の情報が作り出す物であり、意識をバの中で思うとそれは**意思**になり、意思を行動にすると**意志**になる。また、自分のバの音を伝える事は**意見**になる。
- ・家族の事もなんとなく見るのではなくよく見る。よく見るとは、相手のバの音をよく聞くという事。



【裏面に続きます】

- ・日曜日の『日』と月曜日の『月』を足して明日。あしたという言葉は**明るい日**と書く。
- ・昔は月明かりが無ければ真っ暗だった。でも音は聞こえるという意味で『暗』いになった。
- ・生まれた時に声を延ばしてオギャーと生まれてくるから『誕生』になる。その時の声を産声と書く。

・子供とは人が共に育てるもの。

・大人が子供に、出来る・成せばなるを

見せなければいけない。元気があればなんでも出来る！

・愛を分解すると、最初の受冠は手という意味で、真ん中はこころ。下は足。だから**愛は全身で表すもの**になる。

・大切なのに『切』が使われているのは切には磨くという意味があるから。

・人は皆、女性から生まれる。女の人が土台になって、始まるの字になる。

・女性が良い縁にめぐりあえるようにという願いから『娘』になり、そして家に入り『嫁』になる。そして『姑』から古くからの伝統や文化を伝え教えられ、先祖代々がすまう場所(墓や仏壇)を掃き浄めても良いと認められ任されて『婦』人になると言う意味がある。

・日本語は「あ」「い」で始まり「を」「ん」で終わる。

愛ではじまり恩で終わる言葉なんです。

・命とは言葉で言葉は心

この様な内容でとても勉強になる楽しい時間でした。今回の講演会には小中学生も多く参加していましたが皆漢字に興味がありましたと思います。 代表 佐藤俊太郎



不要品収集のお知らせ

毎年お客様からご好評いただいております『不要品収集サービス』を今年も行います。不要品がありましたら是非お申し込みください。

別紙にて、お申し込み方法や注意事項等

ご案内させていただいております。

ご不明な点等ございましたら、お気軽にご連絡ください。

